



あんざい通信

—KOMEITO—
公明党

横浜市議員(港南区) 安西 ひでとし

Vol.94

『#7119』の充実へ

救急やケガで困った時の電話相談窓口が横浜市救急相談センター「#7119」です。24時間常駐の看護師が相談を受け付けており、緊急度や受診の必要性をアドバイスし、症状に応じて119番に転送する仕組みです。

こうした仕組みの導入の背景には高齢化の進展とともに全国的に救急車が出勤する件数の増加があります。横浜市でも年々増加し、2018年は20万件にも達しました。

ただ、中には救急車を呼ぶ必要のない軽症の場合もあります。救急車も救急医療機関も地域の限りある資源です。本当に緊急性を要する人が適正に利用できなければなりません。



©KOMEITO

公明党の提言から

横浜市での導入は、公明党市議団の提案で2006(平成18)年7月に「小児救急電話相談」としてスタートしました。2016年1月には全年齢の相談対応が可能な救急電話相談へと発展しました。

センターで対応した件数は2016年度は約28万1千件、2017年度は35万件にも上り、2018年度は36万件を超えました。また相談が集中する年末年始に備えるため、横浜市では昨年末に回線を増やし、体制の強化を図りました。

マグネット配布提案

公明党市議団は、制度のさらなる普及を図るため、5月31日にセンターを訪問し、意見交換を行いました。そこで認知度向上のため、例えば、次の図柄のような「#7119」のマグネットを各家庭に配布することを提案しました。

相談の利用は小児救急では普及しているものの、救急搬送の半数以上を占める65歳以上の方への周知が課題となっています。公明党市議団では、しっかりと施策や事業に取り組みながら、「#7119」の普及・充実を進めていきます。

▼ここから切り取ってお使いください✂

急な病気やけがで、救急車を呼ぶか、
医療機関を受診するか迷ったら...

●電話で相談●

#7119

または、**045-232-7119**
年中無休/24時間対応

★Webで判断★
救急受診ガイド



横浜市救急受診ガイド

検索

ご意見・ご相談

TEL: 045-671-3023

FAX: 045-681-2060

HP: <http://anzai-hidetoshi.com>